



2014年理系第2問

2 次の問いに答えよ.

- (1) t を実数とする. x についての方程式 $2^x + 2^{-x} = t$ の実数解の個数を調べよ.
- (2) a と b を実数とし, x についての方程式 $4^x + 4^{-x} + a(2^x + 2^{-x}) + b = 0$ が, ちょうど3個の実数解をもつとする. このとき, 点 (a, b) の存在する範囲を図示せよ.